

学級活動 (1)

※ は、留意事項です。

第〇学年〇組 学級活動（１）指導案

【学級活動（１）】
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践する一連の活動を示している。

： 計
～ 名

年間指導計画（ ）学年 〇月議題 学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画

1 学校で育てたい資質・能力

「学校デザインシート」から、関連する内容を抜粋して記載する。

2 議題 「 」
学級活動の内容（ ） ※例：学級活動の内容(1)ア

3 議題について
(1) 児童生徒の実態

児童生徒自らが「学級や学校の生活づくり」について問題を見だし、話し合い、計画・実践に関する普段の現状を記述する。その際、アンケートを活用した意識調査や学校生活の観察から様子を具体的に捉える。

(2) 議題選定の理由

議題が選定された背景やこの議題を学級全体が取り組むことで、学級や学校生活がどのように向上し、児童生徒一人一人にどのような態度が身に付くことが期待できるかについて、教師の願いや指導観などを記述する。育成する視点として、人間関係形成、社会参画、自己実現との関連を意識しながら記述する。

4 第〇学年及び第〇学年の学級活動(1)の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（以下、参考資料）を参照し各学校で作成する。		

5 事前の活動（本時に至るまでの活動の流れ）

	日時	児童生徒の活動	指導上の留意点	目指す児童生徒の姿と【評価項目】評価方法
事前の活動	〇月〇日（ ） （昼休み） 【計画委員会】	「朝や帰りの会など、どの時間で行う予定か」（日時）や「計画委員の活動が全員の活動か」（活動形態）なども記述する。	「問題の発見」から「事後指導」までの活動、計画委員会の活動について記述。	【主体的態度】
	〇月〇日（ ） （朝の会） 【学級全員】		主体的に学習の取り組む態度の評価する。	【知識・技能】
		【計画委員会】 計画委員会は、学級会の司会のグループと提案者、教師で構成される。輪番制で行いすべての児童生徒が経験するようにする。児童生徒の話し合いを深めるために、計画委員会で教師は、積極的に助言を行う事が大切である。		計画委員会の中で、知識・技能を評価する。

6 本時の展開

議題選定理由を踏まえ、本時の指導内容や教師の指導の意図を具体的に記述する。

(1) 本時のねらい

本時の授業のどこで、どのような指導の在り方や方法を提案しようとしているのか、学習指導要領を踏まえて簡潔にまとめる。

(2) 授業仮説

(授業仮説の表現例)

「○○○において、○○○すれば、○○○になるであろう。」

場・内容の限定

投入方法

期待される効果

方法・手立て

ねらい・めざす子ども

(3) 展開

段階	話合いの順序	指導上の留意点 □教師の手立て◆児童生徒の反応	目指す児童生徒の姿と 【評価項目】評価方法
導入 (分	1 はじめの言葉 2 計画委員会の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 決まっていることの確認 6 教師の話	提案理由を「今の様子」「どうするか」「めざす姿」の視点で記入する。 提案理由を踏まえて、学級全体としてのめあてを記述する。	
展開 (分	7 話合い 話合うことを記述する。 ※発達の段階や議題の内容によっては2本とは限らない。 (1) 話し合うこと① (2) 話し合うこと② ・一人一人の児童生徒の思いや願いなど意見の交流を大切にしながら、根拠を明確にして合意形成が図られるよう指導していく。	・問題意識の共有、多様な考えの交流 ・実践する目標や内容を決定 児童（生徒）の予想される意見や賛成意見、心配されることを記入する 話合いが混乱したときの助言 話合いを深める助言 ・○○の状況（場面）になったら、○の助言をする等。 ・○○の児童（生徒）には、○○の助言をする等。 【合意形成を図る】 異なる意見や考えをもとに、様々な解決の方法を模索したり、折り合いを付けたりすることで、最終的には“自分もよくてみんなもよい”というように集団としての意見をまとめること。 集団における合意形成では、同調圧力に流されることなく、批判的思考力を持ち、他者の意見も受け入れつつ自分の考えも主張できるようにすることが大切である。	・学級生活の改善を図るために折り合いを付ける力を育成するための手立てについて記述する。 【思考力・判断力・表現力】 (例) 友達の意見を認めながらも、付け足しや修正を加え、意見の集約を図ろうとしている。 (授業観察・自己評価)
終末 (分	8 決まったことの発表 9 話合いの振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉	決定したことに対する児童生徒の意欲の高まりをどのように想定しているか記述する。 話合いの内容についての教師の価値付けの視点を記述する。	

7 事後の活動

日時	児童生徒の活動	指導上の留意点	目指す児童生徒の姿と 【評価項目】評価方法
○月○日 ()	・計画委員会で話し合ったことは「児童（生徒）の活動計画（3ページ目に添付）」としてまとめる。 ・決定事項を実践するために予想される児童生徒の活動とその指導、支援について記述する。		次の学びに繋げているか、主体的に学習の取り組む態度の評価する。
○月○日 ()			

那覇市様式

7 児童（生徒）の活動計画

※計画委員会（学級活動委員会等）が作成した活動計画（児童生徒の手書き可）を3ページ目に添付する。